

# たんぽぽ



## 地域医療支援病院特集



医療法人社団 宇部興産中央病院は  
地域医療支援病院の承認を受けました。



宇部興産中央病院は、本年8月27日より山口県の認可を受けて地域医療支援病院となりました。地域医療支援病院と院長 **福本 陽平** は、地域のかかりつけ医などへの医療支援を行う病院であり、承認の要件として、周辺の診療所や病院からの紹介患者さんを積極的に受け入れ、救急患者さんには救急医療を提供し、CTやMRIなどの高度な医療機器を、地域の医療施設の先生方と共同利用できる体制にすること等です。当院は、すでに救急救命センターを設置しており、昨年は2,040

名の救急搬送の患者さんを受け入れました。1ヵ月当たり約170名の救急患者さんになります。その他、自家用車などで救急救命センターを受診される方もあり、忙しい毎日です。

地域医療支援病院の承認を受けたことで、今後、当院の診療体制が変わることはありませんので、安心して受診して頂ければ幸いです。これまで通り、患者中心の医療、やさしい病院づくりをめざして、さらに医療内容を充実してゆく所存です。

今後とも、何卒、宜しくお願い申し上げます。

2015年  
11月  
79号



### 【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院  
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、 医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、 患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、 地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、 経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

地域医療支援病院  
**UBE** 宇部興産中央病院  
地域連携室  
宇部市大字西岐波750番地 TEL(0836)51-9421

## 地域医療支援病院



宇部興産中央病院は、  
2015年8月27日付で  
地域医療支援病院になりました！

長年にわたり地域の医療機関との適切な役割分担と地域連携を促進し、かかりつけ医（診療所）の支援、救急医療の実績が認められ、2015年8月27日付で山口県知事から「**地域医療支援病院**」の承認をいただきました。

指令平27医療政策第456号

宇部市大字西岐波750番地  
医療法人社団 宇部興産中央病院

平成27年7月28日付けで申請のありました地域医療支援病院の名称使用については、医療法（昭和23年法律第205号）第4条第1項の規定に基づき、承認します。

平成27年（2015年）8月27日

山口県知事 村岡 潤



宇部興産中央病院は、地域医療支援病院の役割と要件をすべて満たしています。

- ① 地域医療支援病院の紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）がある
- ② 医療機器の共同利用ができる体制がある
- ③ 救急医療を提供する能力がある
- ④ 地域の医療従事者に対する研修を行う能力がある
- ⑤ 病床規模が200床以上ある

これからも宇部興産中央病院は、地域になくてはならない病院として地域医療に貢献して参ります。ご支援ご指導をお願いいたします。



## 市内初の地域支援病院への期待



宇部市長 久保田 后子

医療法人社団 宇部興産中央病院が、このたび、地域医療の大きな役割を担う地域支援病院として新たな一歩を踏み出されたことに、心からお祝いを申し上げます。

貴病院は、昭和28年の開設以来約60年の長きにわたり、「いつでも誰でも安心してかかれる中央病院」、「常に使命感を持ち協調して行動する中央病院」の理念のもと、宇部市周辺地域の基幹病院として、また、地域に根づいた病院として、本市にとってなくてはならない医療機関となっております。

地域医療や救急医療の推進など、貴病院には、地域住民の安心・安全を守るために多大な御貢献をいただいているところであり、このたびの地域支援病院の承認は、関係者の皆様の長年にわたる御熱意と御尽力の賜物と、深く敬意を表するものでございます。

本市におきましては、人口減少や超高齢化の進行への対応など多くの社会的課題に対して、市民をはじめ、産・官・学・金・労など「地域の力」が一体となって、「まち・ひと・しごと創生」一ふるさとの創生一に挑戦いたします。今後とも、保健・医療・福祉の連携のもと、市民の健康と福祉の推進のために、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、医療法人社団 宇部興産中央病院の今後ますますの御発展と関係者の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念し、お祝いのことばといたします。

## 信頼と愛情の理念でさらなる発展を



宇部市医師会長 矢野 忠生

宇部興産中央病院様が、宇部市で初めての「地域医療支援病院」として承認を受けられましたことは、真に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

承認を受けるには厳しい条件がありますがこれをクリアーされ、かつ宇部小野田保健医療圏の全医師会の同意を得られましたのは、平素より24時間・365日診療体制で市民の皆様のために貢献しておられる実績からして当然のことと考えます。人間愛とプロ意識に基づく惜しみない献身の賜物だと思います。

先般の世界スカウトジャンボリー開催期間中には、国民性や言葉の全く異なる急病あるいは重病の外国人を多数引き受けられ、的確な治療を実践されて各方面より大いに感謝されたとお聞きしております。地元医師会として、というより日本人として誇りに思っております。ご苦労さまでした。本当にありがとうございました。

「最高の医療は医師と患者の限りない信頼と深い愛情の上に築かれる」を病院の理念としておられる貴院のさらなる発展と、関係の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈りいたします。

# 宇部興産中央病院の 地域医療支援病院承認によせて



宇部・山陽小野田消防局 消防長 江本 祥三

このたび、医療法人社団 宇部興産中央病院が「地域医療支援病院」の承認を受けられたことは、御同慶にたえず、宇部・山陽小野田消防局を代表し、お祝い申し上げます。

貴病院は、これまで市民の健康の確保に多大な貢献をしてこられました。その御熱意と御努力に深く感謝の意を表する次第であります。

私ども消防は、管内で発生した救急患者を迅速に医療機関へ搬送することを業務としていることから、スムーズに救急患者を受入れていただける病院を必要としています。

平成26年の統計では、宇部市内の救急搬送人員は、5,897人ですが、そのうち、1,730人（全体の29.3%）を受入れていただいています。

これは、貴病院が救急患者受入れのため、24時間体制で医療スタッフの確保に相当な御尽力をされている証しであります。

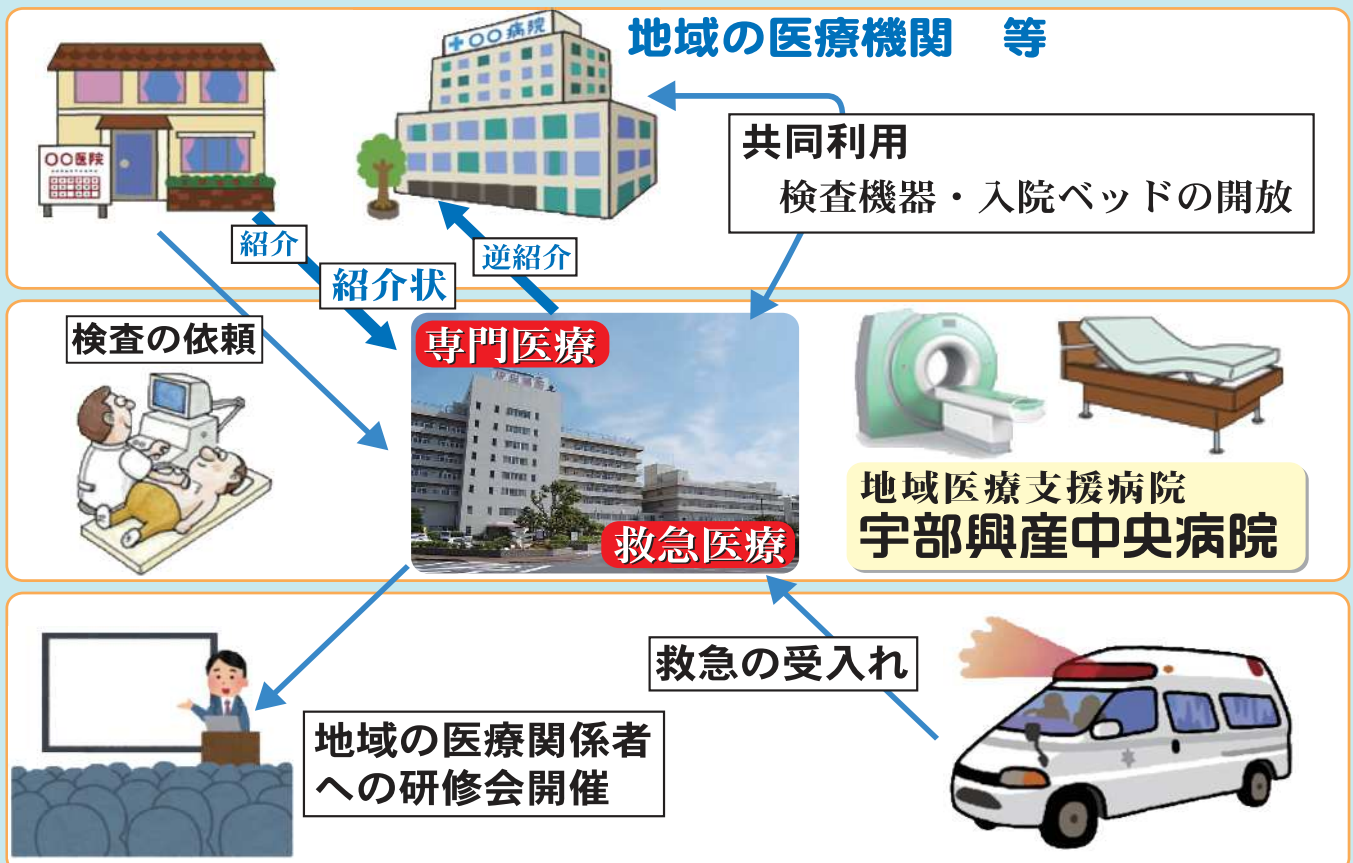
また、平成20年から県内の救急救命士が参加する「救急救命スキルアップセミナー」を開催していただき、今年で第8回目を迎え、救急救命士の育成にも御尽力いただいております。

こうしたことから、当消防局だけではなく市民にとりましても、宇部興産中央病院は単なる医療機関ではなく、なくてはならない、重要な医療機関であると確信しています。

これから、地域医療支援病院として地域医療の中核を担うこととなりますが、今後とも「顔の見える関係」を引き続きお願いするものであります。

終わりになりますが、病院長はじめ関係者の皆様におかれましては、市民の健康確保のため一層の御尽力を賜りますとともに、宇部興産中央病院の益々の御発展を祈念して、お祝いの寄稿とさせていただきます。

## 地域医療支援病院の立ち位置 地域との連携



# 宇部興産中央病院は **新しく** これから



2018年の4月稼働目途に  
新病棟が南側に完成します。

救急センター  
手術室  
脳卒中センター

などが新しくなります。

地域医療支援病院として、  
医療法人社団 宇部興産中  
央病院はこれからも地域医  
療を支えていきます。



## 地域の**救急医療**を積極的に担います



医療圏域で最も多い年間 118 日の二次救急輪番日を担い、かつ、輪番以外でも他の救急病院のサポートを年間 86 日担うなど、圏域全体で年間 204 日 (55.7%) の突出した救急受入れ体制にあります。これからも安心した市民の暮らしを支援します。



## 宇部市医師会（かかりつけ医）を支援し、紹介患者さんを積極的に受け入れて、**専門医療**を担います



市内の当院への登録医療機関（クリニック）は 53 機関にのぼり、紹介機関は県内外を含めて250を数えます。これからも、連携を密に地域医療に貢献します。



## **在宅医療**をされる診療所の後方支援を積極的に担います



山口県から「在宅医療提供体制構築事業」の委託を受けている病院です。在宅医療をされる診療所の先生や患者さんに関わっておられるケアマネジャー、訪問看護師など地域のスタッフの後方支援を急性期病院の立ち位置で積極的におこなっていきます。





# 新任医師

## の紹介

脳外科  
いでぐち まこと  
出口 誠 医師



この度10月より宇部興産中央病院勤務となりました脳神経外科の出口と申します。出身は長崎県五島市で風光明媚、自然豊かな中で育ちました。平成8年山口大学脳神経外科に入局し、その後大学病院、宇部興産中央病院、長門総合病院などで勤務し、国内（京都大学）、国外（スタンフォード大学）留学を得て、9年間山口大学で勤務しておりました。専門は脳腫瘍に対するマルチモダリティを駆使した治療、つまり画像、ナビゲーションシステム、神経生理モニタリング、覚醒下手術、術中蛍光診断など様々な医療資源を駆使してより確実・安全な手術をめざす医療です。私にとって宇部興産中央病院は、卒後3～5年目までの2年間勤務した、まさに自分の医師としての礎を築いてくれた病院です。今回、勤務「復帰」となりましたので、これまで培った自分の専門分野を生かしつつ更に医師としての技量を広げながら、病院の発展、地域医療に貢献できるよう努力したいと思えます。

### ❖ 専門分野

- ・脳腫瘍の外科手術、化学療法
- ・神経内視鏡手術

### ❖ 認定医・専門医

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本がん治療暫定教育医
- ・日本がん治療認定医
- ・日本神経内視鏡学会技術認定医

### ❖ 得意とする診療内容

- ・脳腫瘍
- ・神経内視鏡

## 日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏

### 宇部興産中央病院ふれあいコンサート、たんぽぽコンサートを開催

10月11日（日）に第8回目となります日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏によるコンサートを開きました。今回は色彩を変え第一部を入院患者さんへの慰問コンサート、第二部を地域の皆様を対象にたんぽぽコンサートという構成にしました。第一部では入院患者さんが各病棟から独歩や車いすで120名が2Fの会場に集まり、クラシック音楽や唱歌などを目の前で聴かれ、癒しのひとときとなりました。第二部では8F展望レストランコスモで130名の地域の方々が日本フィルの奏でられる音楽を堪能されました。初めての企画でしたが、宇部ジュニアオーケストラ、宇部市民オーケストラの皆さんも日本フィルの演奏に加わり、合同演奏の響きに大きな拍手が起こりました。宇部一のパンoramaを誇る宇部興産中央病院の8Fコスモでのたんぽぽコンサートは成功裏に終わりました。“たんぽぽ”は宇部興産中央病院の地域連携のイメージ花です。たんぽぽコンサートでの音楽が地域に響き、地域とのコミュニケーションの場になれば幸いです。



初めての企画でしたが、宇部ジュニアオーケストラ、宇部市民オーケストラの皆さんも日本フィルの演奏に加わり、合同演奏の響きに大きな拍手が起こりました。宇部一のパンoramaを誇る宇部興産中央病院の8Fコスモでのたんぽぽコンサートは成功裏に終わりました。“たんぽぽ”は宇部興産中央病院の地域連携のイメージ花です。たんぽぽコンサートでの音楽が地域に響き、地域とのコミュニケーションの場になれば幸いです。

地域連携室

